

令和6年度PMH(予防接種(定期接種B類)) 先行実施事業システム改修概要説明

健康管理システム等バンド向けシステム改修概要

2024年8月

MRI 三菱総合研究所

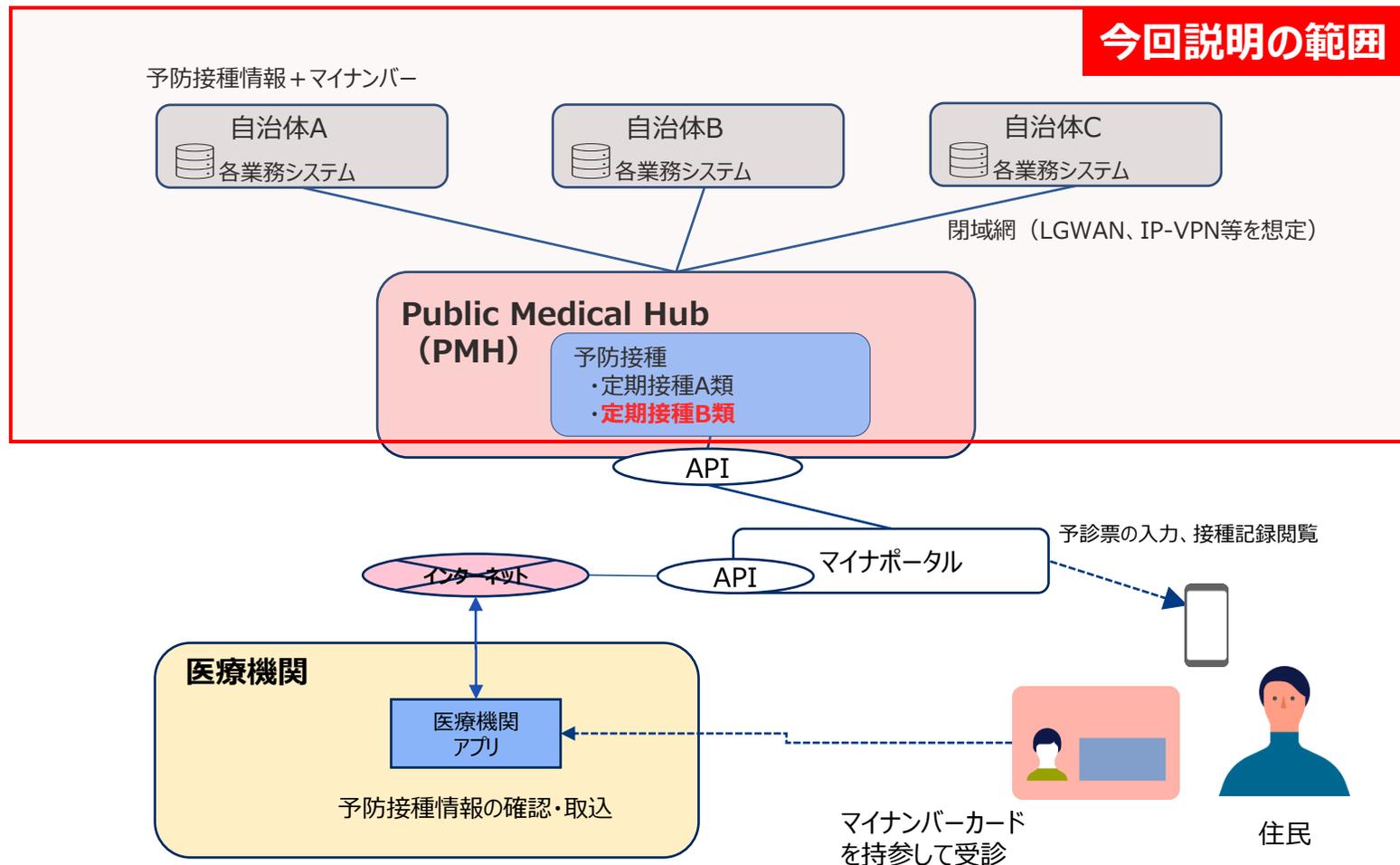
目次

CONTENTS

1. サービス概要図と今回説明の範囲
 2. 令和6年度に対象となる予防接種
 3. PMH導入後の業務運用イメージ
 4. PMH接続により追加いただきたい機能
 5. 各機能で取り扱うデータ
 6. 健康管理システム等に求める機能追加内容
 7. 機能追加時の注意点・留意点
- Appendix #1～3

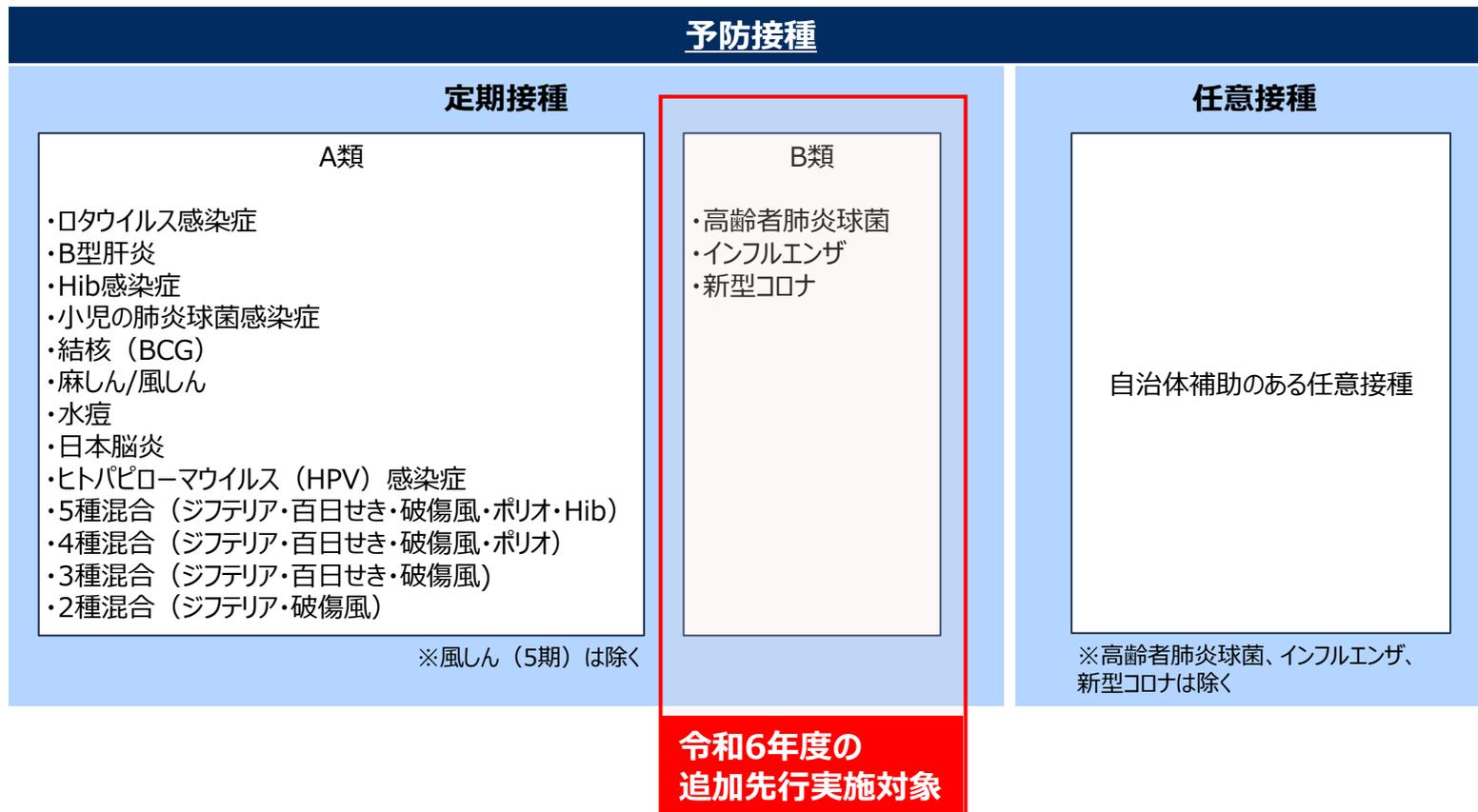
1. サービス概要図と今回説明の範囲

PMHは予防接種の予診票・接種記録の情報を自治体/医療機関/対象者間で情報連携するためのサービス。今回は健康管理システム等から予防接種（定期接種A類/B類）に係る情報連携についてご説明。



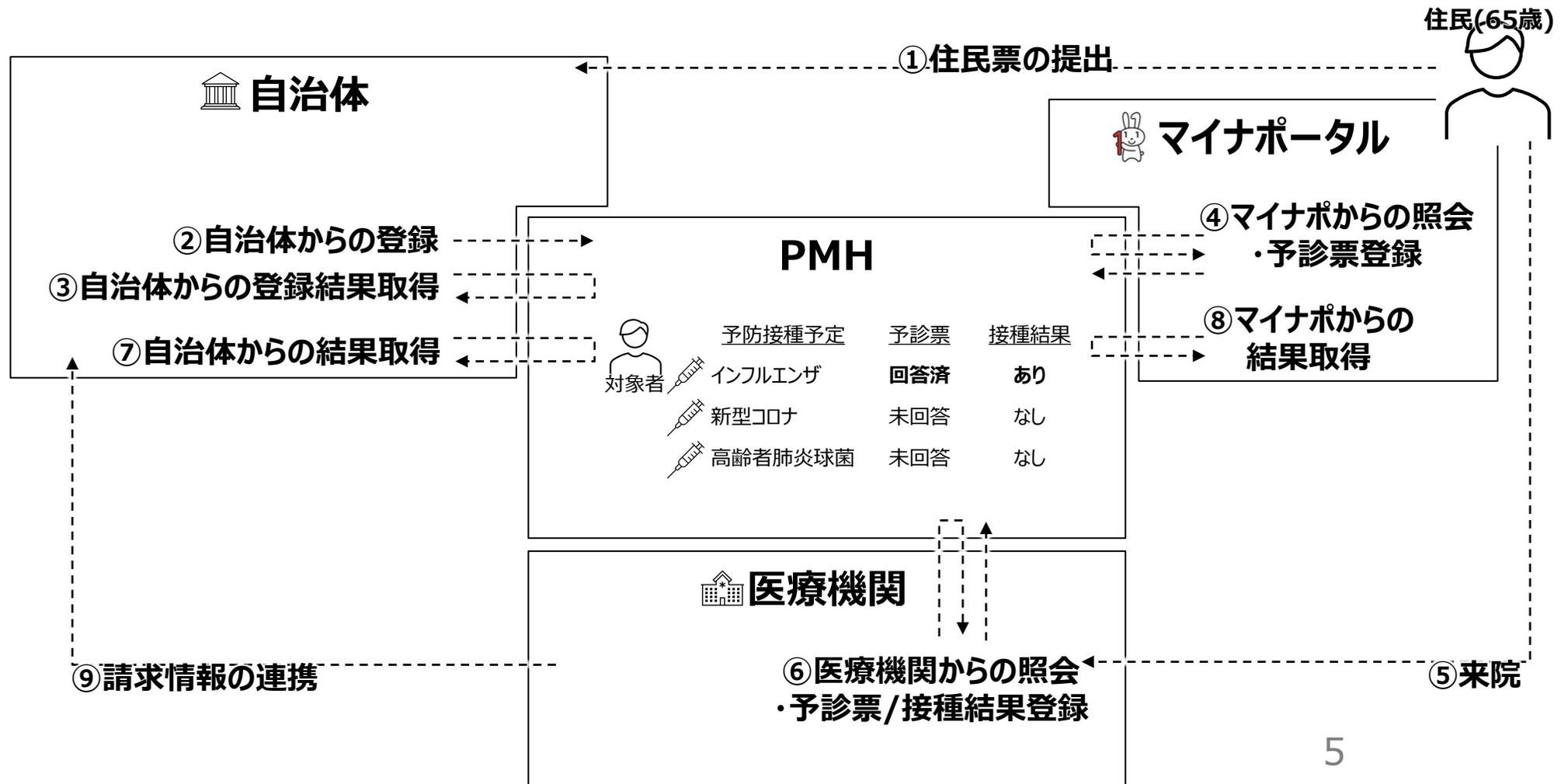
2. 令和6年度に対象となる予防接種

令和5年度の先行実施事業では、定期接種A類を対象としてマイナンバーカードを利用した予防接種の電子化等に関する先行実施を行った。令和6年度では定期接種A類に加えて、定期接種B類を対象として先行実施を行う。



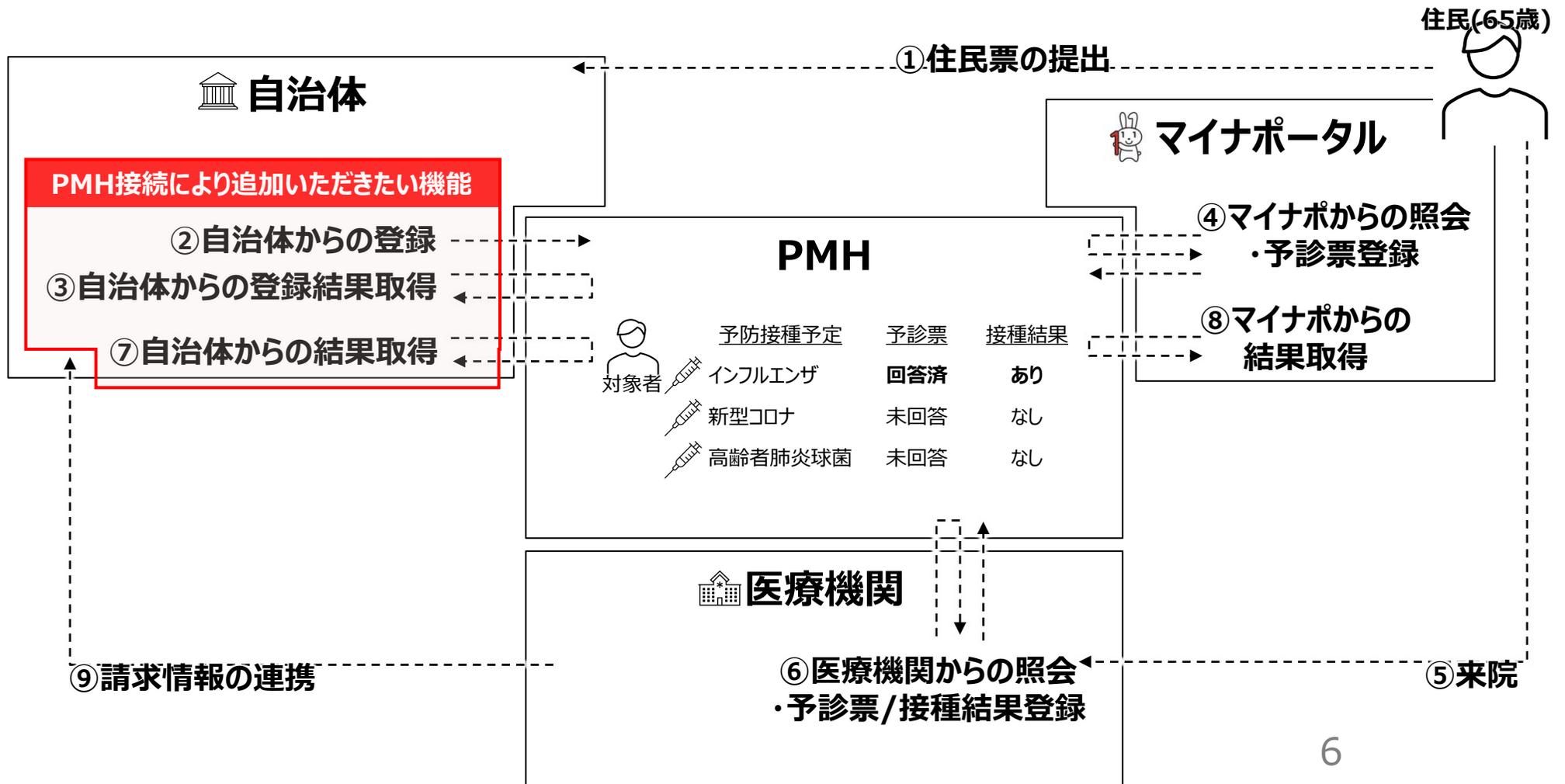
3. PMH導入後の業務運用イメージ

自治体からPMHへ対象者情報を登録することにより、マイナポータルおよび医療機関で対象者の接種予定・履歴の照会や予診票登録が可能となる。住民が予診票を入力後、医療機関で予防接種を実施し接種結果をPMHへ登録することで自治体およびマイナポータルからの結果の照会が可能となる。



4. PMH接続により追加いただきたい機能

PMH接続のために健康管理システム等に対して、自治体からの接種対象者情報の登録（下図②）、接種対象者情報の登録結果取得（下図③）、接種結果の取得（下図⑦）の3つの機能を追加いただきたい。



5. 各機能で取り扱うデータ（1/2）

No (p.6と連動)	機能	関連するデータ						
②	自治体からの登録	<p>接種対象者情報</p> <table border="1"> <tr> <td>マイナンバー</td> <td>接種対象者情報 (5情報、転入出・死亡等)</td> </tr> <tr> <td>予防接種対象者番号 ※1</td> <td>接種実施日 ※3</td> </tr> <tr> <td>予防接種管理番号 ※2</td> <td>不開示フラグ ※4</td> </tr> </table> <p>※1 予防接種対象者番号 予防接種対象者を自治体内で管理するための番号。</p> <p>※2 予防接種管理番号 予防接種ごとの管理番号。</p> <p>※3 接種実施日 対象者の接種記録として、予防接種管理番号ごとの過去の接種日を登録する。</p> <p>※4 不開示フラグ DV等の特別支援事由により、情報開示をしない対象者への措置要否を判別するために利用する。</p>	マイナンバー	接種対象者情報 (5情報、転入出・死亡等)	予防接種対象者番号 ※1	接種実施日 ※3	予防接種管理番号 ※2	不開示フラグ ※4
マイナンバー	接種対象者情報 (5情報、転入出・死亡等)							
予防接種対象者番号 ※1	接種実施日 ※3							
予防接種管理番号 ※2	不開示フラグ ※4							
③	自治体からの登録結果取得	<p>登録結果情報</p> <table border="1"> <tr> <td>登録ステータス</td> <td>エラーリスト※5</td> </tr> </table> <p>※5 エラーリスト エラーとなった接種対象者情報およびエラー内容。</p>	登録ステータス	エラーリスト※5				
登録ステータス	エラーリスト※5							

※各データ項目の詳細は別紙のAPI設計書・ファイル設計書を参照のこと

5. 各機能で取り扱うデータ（2/2）

No (p.6と連動)	機能	関連するデータ					
⑦	自治体からの結果取得	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">接種記録</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">マイナンバー</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">接種記録 ※6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">予防接種対象者番号</td> <td rowspan="2" style="background-color: #0070c0;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">予防接種管理番号</td> </tr> </table> </div> <p style="margin-top: 10px;">※6 接種記録 接種記録には、予防接種せず予診 だけ実施した場合の記録も含む。</p>	マイナンバー	接種記録 ※6	予防接種対象者番号		予防接種管理番号
マイナンバー	接種記録 ※6						
予防接種対象者番号							
予防接種管理番号							

※各データ項目の詳細は別紙のAPI設計書・ファイル設計書を参照のこと

6. 健康管理システム等に求める機能追加内容（1/2）

No	機能 (p6と連動)	機能追加概要	機能追加詳細
1		「予防接種対象者番号」 「予防接種管理番号」の定義	PMHへ登録する際のキー情報となる「予防接種対象者番号」、「予防接種管理番号」を定義する。 ※詳細は「Appendix#1 予防接種対象者番号と予防接種管理番号の定義」ページを参照のこと
2	②自治体 からの登録	接種対象者情報の登録	<p>【概要】 全接種対象者、全ワクチン、全回数分について、PMHへデータを登録する。</p> <p>【連携方法】 接種対象者情報について、登録/変更/削除が発生した際に連携する。差分連携とする。</p> <p>【インターフェース要件】 健康管理システム等とPMH間で自動連携が可能な場合は、API連携（REST-API方式）またはCSVファイル連携のいずれかを選択いただく。自動連携が難しい場合、PMH画面からのCSVファイルアップロードによる手動登録となる。</p> <p>【頻度】 日次1回以上の頻度で同期いただく必要あり。</p> <p>【登録する対象者・タイミング】</p> <p>A類</p> <ul style="list-style-type: none"> • 既に健康管理システムに登録されている住民の場合 <ul style="list-style-type: none"> • 男性：2004年4月3日以降の住民を登録する • 女性：1997年4月2日以降の住民を登録する（HPVのキャッチアップ接種を考慮） • 出生届・転入等、健康管理システムに新たに登録する住民の場合 <ul style="list-style-type: none"> • 登録時点で定期接種対象であれば、PMHに登録する • 生年月日不詳の住民：登録対象とする <p>B類</p> <ul style="list-style-type: none"> • 既に健康管理システムに登録されている住民の場合 <ul style="list-style-type: none"> • 65歳で定期接種対象となる住民：65歳の誕生日前日に登録する • 60歳以上65歳未満に条件付きで定期接種対象となる住民：対象となったタイミングで登録する • 転入等、健康管理システムに新たに登録する住民の場合 <ul style="list-style-type: none"> • 登録時点で上記の通り定期接種対象であれば、PMHに登録する • 生年月日不詳の住民：登録対象外とする

6. 健康管理システム等に求める機能追加内容（2/2）

No	機能 (p6と連動)	機能追加概要	機能追加詳細
2	前頁の続き		<p>【接種実施日の登録】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者の接種記録として、予防接種管理番号ごとの過去の接種実施日を登録する。 紙で配布された予診票を利用し、PMHを介さずに健康管理システム等へ接種記録が登録された場合にも接種実施日を登録する。 <p>※定期接種A類および定期接種B類の肺炎球菌は、接種実施日登録を必須とする。</p>
3	③自治体からの登録結果取得	対象者登録結果の取得	<p>【概要】 PMHへ登録した接種対象者情報の登録結果を取得する。 登録が失敗した場合のみ、エラーとなった接種対象者情報およびエラー内容を取得する。 健康管理システム等への反映の有無は任意。 反映する場合のタイミング・方法は自治体ごとに定義する。</p> <p>【抽出条件】 登録時に払い出された処理通番を基に結果を取得する。</p> <p>【インターフェース要件】 健康管理システム等とPMH間で自動連携が可能な場合は、API連携（REST-API方式）またはCSVファイル連携のいずれかを選択いただく。 自動連携が難しい場合、PMH画面からの照会・CSVファイルダウンロードによる手動取得となる。</p>
4	⑦自治体からの結果取得	接種記録（予診情報）の取得	<p>【概要】 PMHから接種記録（予診情報）を取得する。 健康管理システム等への反映の有無は任意。 反映する場合のタイミング・方法・対象スコープは自治体ごとに定義する。</p> <p>【抽出条件】 期間指定により結果を差分取得する。</p> <p>【インターフェース要件】 健康管理システム等とPMH間で自動連携が可能な場合は、API連携（REST-API方式）またはCSVファイル連携のいずれかを選択いただく。 自動連携が難しい場合、PMH画面からの照会・CSVファイルダウンロードによる手動取得となる。</p>

参考. 健康管理システム等とのインターフェース要件

健康管理システム等の改修が可能である場合は、**CSV/JSONファイルのAPI連携を推奨いたします**。また、健康管理システム等におけるAPI連携の改修が困難である場合でもPMH画面を活用した運用は可能です。健康管理システム等の改修方針に応じて、連携用CSV/JSONファイルの作成・アップロード等に自治体様において運用の手間が発生いたします。

PTN	健康管理システム導入状況	本事業における健康管理システムの改修可能性	健康管理システム改修方針	自治体内における運用方法	備考
1-1	導入済	可能	API連携 (JSON)	自動連携のため運用対応はなし	推奨PTN
1-2			API連携 (CSV)		
2			CSV/JSONファイル作成のみ改修可能	① 連携用CSV/JSONファイルをPMH画面よりアップロード	
3		不可能	—	① 連携用CSV/JSONファイルを手作成 ② 連携用CSV/JSONファイルをPMH画面よりアップロード	PTN2の運用に加え、連携用CSV/JSONファイル作成の手間が発生する
4	未導入	—	—		

7. 機能追加時の注意点・留意点（1/3）

No	概要	詳細
1	A類B類の定義について	<p><u>A類</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 人から人に伝染することによるその発生及びまん延を予防するため、又はかかった場合の病状の程度が重篤になり、若しくは重篤になるおそれがあることからその発生及びまん延を予防することを目的 接種費用の負担：市町村（9割程度を地方交付税措置） 現状、定期接種においては小児期に接種が行われることが多い <p><u>B類</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の発病又はその重症化を防止し、併せてこれによりそのまん延の予防に資することを目的 接種費用の負担：市町村（3割程度を地方交付税措置） 現状、定期接種においては高齢期に接種が行われている
2	標準予診票の設定	令和8年度以降の標準予診票利用を見据え、定期接種B類についてはPMHで設定する予診票は標準予診票を使用し、自治体ごとのカスタマイズを許容しないものとする。
3	住民および医療機関が予診票回答可能となるタイミングについて	<p>予防接種の種類毎にPMHからの予診票回答情報の返却タイミングが異なる。</p> <p><u>A類</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 開始：自治体からの対象者情報登録のタイミング 終了：接種記録登録まで <p><u>B類</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 肺炎球菌 <ul style="list-style-type: none"> 開始：自治体からの対象者情報登録のタイミング 終了：接種記録登録まで インフルエンザ/新型コロナ <ul style="list-style-type: none"> 開始 <ul style="list-style-type: none"> 条件を満たす年齢になる年度では「その年齢になる前日（生年月日の前日）」と「9/1」のうち、遅い方のタイミング 条件を満たす年齢になる年度の次年度以降の年度では、毎年度9/1 終了 <ul style="list-style-type: none"> 毎年度3/31。ただし、医療機関アプリ側でのみ、接種対象者の予診票回答済みの場合は期間外でも表示する。 <p>※新型コロナは今年度については上記の通りだが、来年度以降は毎年度開始終了タイミングの設定を変更する。</p>
4	当該年度に接種済みの対象者の自治体からのデータ登録について	<p>自治体からデータ登録を行う時点で、対象者が当該年度に接種済の場合、以下いずれかの対応が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> 接種実施日をPMHに登録する 該当の予防接種管理番号をPMHに連携しない 特に何もしない場合、接種済みの予防接種の予診票が回答可能な状態で住民に見えてしまうことを理解した上で何かしらの対応（住民への周知等）をする必要がある。

7. 機能追加時の注意点・留意点（2/3）

No	概要	詳細
4	前項の続き	<p>【接種実施日の登録】 対象者の接種記録として、予防接種管理番号ごとの過去の接種実施日を登録する。 紙で配布された予診票を利用し、PMHを介さずに健康管理システム等へ接種記録が登録された場合にも接種実施日を登録する。 ※定期接種A類および定期接種B類の肺炎球菌は、接種実施日登録を必須とする。</p>
5	自治体からの結果取得について	<p>ロット番号桁数 PMHは健康管理システム等標準化を見据え、基本データリストに則りロット番号を20桁で管理している。健康管理システム等は今回の機能追加においてPMH接続後もロット番号を10桁で管理する方針とする場合、以下対応を行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 11桁以上のロット番号が返却された場合、アラートを出し検知できるようにする その後の対応は自治体側の運用で定義し、11桁以上のロット番号を管理できるようにする <p>GTINコード変換 自治体側で固有のワクチン名、メーカー名のコードを保有する場合は、PMHから連携するGTINコードをもとに変換する。（詳細は「Appendix#2 GTINコード参考例」参照のこと）</p> <p>更新履歴の連携 PMHでは接種記録の履歴を全て自治体に連携するという思想に基づいて、絞りこみ期間中に医療機関からの更新があった結果を全て出力する。その場合、予防接種予定IDをキーとして以下の形式で出力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> CSVファイル連携またはCSVファイルダウンロードによる手動取得の場合：複数行 API連携の場合：JSON形式の複数の配列要素 <p>※予防接種予定ID以外の項目（ex. 接種日等）をキーとして、自治体側への取り込みを行わないこと</p>
6	指定項目長を超える場合の対処について	<p>① 既に自治体標準システムの基本データリストに則って連携しているデータの場合は、連携しているデータと合わせる</p> <p>② ①以外の項目については①で連携した際のクレンジングポリシーに合わせて連携する</p>
7	文字コード	<ul style="list-style-type: none"> 文字集合：JIS X 0213（JIS第一水準～JIS第四水準漢字） 文字コード：ISO/IEC 10646 文字符号化形式：UTF-8 上記に該当しない文字は「●」へ置き換えて連携

7. 機能追加時の注意点・留意点 (3/3)

No	概要	詳細
8	PMH利用可能時間	<ul style="list-style-type: none"> 登録処理：平日08:00-20:00（登録受付は24時間/365日可能） ※外部システム（対象者の識別子を発行するシステム）の稼働時間により以下制約あり。 <ul style="list-style-type: none"> 新規対象者が1件もない場合：識別子発行システムは経由しないため、24時間365日登録結果を返却する。 1件でも新規対象者がいる場合：平日08:00-20:00までのファイル連携であれば、当日中に登録結果を返却する。左記時間外の連携は翌営業日での返却となる。その場合、時間外に連携されたファイルの順序性はPMHで担保する。 登録結果取得処理：24時間/365日 結果取得処理：24時間/365日
9	登録完了時のメール連絡について	登録が完了したタイミングで、ユーザーのメールに登録結果/処理通番/アップロード日時を連絡
10	CSVファイルの仕様について	PMHへ連携するCSVはCSV標準仕様に準拠する
11	認証方法について	<ul style="list-style-type: none"> PMHと健康管理システム等が連携する前に、PMH保守運用事業者による運用作業としてIDトークン（健康管理システム等毎に固有）の払い出しを行う。IDトークンは医療費助成/予防接種/母子保健毎に異なるものを払い出す。 APIコール時には、HTTPリクエストヘッダ（Bearer Auth）にIDトークン（自治体毎の固有のトークン）を付与してリクエストしていただき、PMH側で認証及び自治体の識別を行う。 <p>※API仕様書上の記載箇所は「Appendix#3 IDトークンに係る記載箇所」ページを参照のこと。</p>

Appendix#1 予防接種対象者番号と予防接種管理番号の定義

	番号体系	補足
予防接種対象者番号	$\underbrace{131016}_{\text{市区町村コード(6桁)}} + \underbrace{000000000000000001}_{\text{対象者を特定する番号(15桁)}} \\ \text{※千代田区の例} \qquad \qquad \qquad \text{※宛名番号等を想定}$	下15桁は自治体ごとに定義いただく想定。
予防接種管理番号	$\underbrace{011}_{\text{ワクチン種別(3桁)}} + \underbrace{01}_{\text{期(2桁)}} + \underbrace{01}_{\text{価(2桁)}} + \underbrace{01}_{\text{回数等(2桁)}}$	毎年度接種対象となるインフルエンザ/新型コロナについては、下2桁01～99で年度毎に1つの管理番号を発番し、初回の対象者登録時に将来のすべての予防接種管理番号を登録いただく想定。

Appendix#2 GTINコード参考例

GTINコード一覧

B類のGTINコード

ワクチン種別	GTINコード	販売名	製造販売元	
肺炎球菌23	14987185810613	ニューモバックスN P	M S D (株)	
インフルエンザ	14987222000175	インフルエンザH A ワクチン「KMB」	K M バイオロジクス (株)	
	14987123159224	インフルエンザH A ワクチン「生研」	デンカ (株)	
	14987503100228	インフルエンザH A ワクチン「生研」	デンカ (株)	
	14987233003592	インフルエンザH A ワクチン「生研」	デンカ (株)	
	14987081112262	インフルエンザHAワクチン「第一三共」1mL	第一三共 (株)	
	14987128213730	「ビケンHA」	(一財) 阪大微生物病研究会	
	14987185809341	「ビケンHA」	(一財) 阪大微生物病研究会	
	14987128310446	フルービックHA	(一財) 阪大微生物病研究会	
	14987185809358	フルービックHA	(一財) 阪大微生物病研究会	
	14987128296092	フルービックH A シリンジ	(一財) 阪大微生物病研究会	
	14987185810729	フルービックH A シリンジ	(一財) 阪大微生物病研究会	
	新型コロナ	14987123004111	スパイクバックス筋注 (1価: オミクロン株XBB.1.5)	モデルナ・ジャパン株式会社

Appendix #3 API設計書上のIDトークンの記載箇所

🔍 Search...

予防接種 ▾

POST postRegistrationTasks

予防接種

postRegistrationTasks

リクエストデータを基に、予防接種対象者情報を登録する。

AUTHORIZATIONS: ▾

bearerAuth

記載箇所

⬆ HTTP: bearerAuth

IDトークン（PMH保守運用事業者より払い出されたトークン情報）

HTTP Authorization Scheme: `bearer`

POST /vaccination/api/v1/regis... ▾

Request samples

Payload

Content type
application/json

Example
変更区分が「1（登録/更新）」の場合 ▾

Copy Expand all Collapse all